

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【公開番号】特開 2018-69082 (P2018-69082A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2017-228982 (P2017-228982)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体枠と、

遊技領域を設けてなる遊技盤と、

当該遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置と、

当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿と、

前記本体枠に設けてなる賞球タンクと、

前記球払い出し装置から払い出される遊技球を前記皿へ供給する球供給通路部材と、

1 条のタンクレール部材と上下方向通路部材とを有するように、前記賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材と、

前記賞球タンク内の複数の遊技球を前記タンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を前記賞球タンクに形成してなる後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に前記賞球タンクの底側後部に形成される整流可能部とを具備してなり、

前記タンクレール部材は、底壁部及び当該底壁部の前後両端部から上方へ立ち上がる前後両側壁部からなる上流レール部であってその長手方向基端部にて前記賞球タンクの後部に連結される上流レール部と、下流レール部と、これら上流レール部及び下流レール部の間に形成される屈曲レール部とを備えており、

当該タンクレール部材において、前記上流レール部は、その前記後側壁部にて、前記上流レール部の前記長手方向基端部から前記屈曲レール部側へ、前記底壁部の後側端部と共に、前記前側壁部へ徐々に近づくように形成されて、前記整流可能部からの上下層の遊技球列を前記後側壁部の前記前側壁部側への近づきに依りて上下層の一遊技球列に整流可能に流動させ、前記屈曲レール部は、前記上流レール部からの前記上下層の一遊技球列を単層の一遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるようになっており、

前記上下方向通路部材は、前記タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになっており、

前記球払い出し装置は、前記上下方向通路部材から順次流下する遊技球を前記球供給通路部材へ払い出すようになっている遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記課題の解決にあたり、本発明に係る遊技機は、請求項 1 の記載によれば、
本体枠（B a）と、

遊技領域（1 2）を設けてなる遊技盤（B b）と、

当該遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置
（1 3 0）と、

当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿（3 1 0）と、

本体枠に設けてなる賞球タンク（1 0 0）と、

球払い出し装置から払い出される遊技球を皿へ供給する球供給通路部材（1 4 0）と、

1 条のタンクレール部材（1 1 0）と上下方向通路部材（1 2 0）とを有するように、
賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材（1 1 0、1 2 0）と、

賞球タンク内の複数の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊
技球を賞球タンクに形成してなる後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に賞球
タンクの底側後部に形成される整流可能部（1 0 1 c、D、1 0 7）とを具備してなり、

タンクレール部材は、底壁部（1 1 3）及び当該底壁部の前後両端部から上方へ立ち上
がる前後両側壁部（1 1 1、1 1 2）からなる上流レール部であってその長手方向基端部
にて賞球タンクの後部に連結される上流レール部（1 1 0 a）と、下流レール部（1 1 0
c）と、これら上流レール部及び下流レール部の間に形成される屈曲レール部（1 1 0 b
）とを備えており、

当該タンクレール部材において、上流レール部は、その上記後側壁部にて、上流レール
部の上記長手方向基端部から屈曲レール部側へ、上記底壁部の後側端部と共に、上記前側
壁部へ徐々に近づくように形成されて、整流可能部からの上下層の遊技球列を上記後側壁
部の上記前側壁部側への近づくに応じて上下層の一遊技球列に整流可能に流動させ、屈曲
レール部は、上流レール部からの上記上下層の一遊技球列を単層の一遊技球列に整流可能
に下流側へ流動させるようになっており、

上下方向通路部材は、タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになって
おり、

球払い出し装置は、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い
出すようになっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

このような構成を前提として、整流可能部が、賞球タンクの底側後部にて、賞球タンク
内の複数の遊技球を当該賞球タンクの後側壁に沿いタンクレール部材に流下させるにあた
り、賞球タンク内の複数の遊技球のうち当該賞球タンクの後側壁側にて流動する各遊技球
が、上下層の遊技球列の上層側の遊技球を下層側の遊技球に割り込ませるように整流可能
に整流される。

また、球通路部材のタンクレール部材においては、上流レール部は、その後側壁部にて
、底壁部の後側端部と共に、屈曲レール部に近づく程前側壁部側へ徐々に近づくように形
成されて、賞球タンクの後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上下層の遊技球列
を後側壁部の前側壁部側への近づくに応じて上下層の一遊技球列となるように整流可能に
流動させ、屈曲レール部は、上流レール部からの上下層の一遊技球列を単層の一遊技球列
に整流可能に下流側へ流動させ、上下方向通路部材が、タンクレール部材からの各遊技球
を順次流下させる。

そして、球払い出し装置が、遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い出し、球供給通路部材が球払い出し装置により払い出される遊技球を皿へ供給する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

要するに、タンクレール部材の上流レール部が、賞球タンクの後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上下層の遊技球列を、上述のように賞球タンクの後側壁から延出する後側壁部の前側壁部側への近づきに依りて、上下層の一遊技球列に整流しながら流動させることで、上述のように構成してなる屈曲レール部にて、上流レール部からの上下層の遊技球列を単層の遊技球列に整流して下流側へ流動させる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、整流可能部が、賞球タンク内の複数の遊技球を、当該賞球タンクの後側壁に沿うようにタンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を賞球タンクに形成してなる後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に賞球タンクの底側後部に形成されることを前提に、当該整流可能部が、賞球タンク内の複数の遊技球のうち当該賞球タンクの後側壁側にて流動する各遊技球を、上下層の遊技球列の上層側の遊技球を下層側の遊技球に割り込ませるように整流可能に整流する。そして、タンクレール部材が、上流レール部にて、賞球タンクの後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上下層の遊技球列を、後側壁部の前側壁部への近づきに依りて上下層の一遊技球列に整流しながら流動させ、屈曲レール部にて、上流レール部からの上下層の遊技球列を単層の遊技球列に整流して下流側へ流動させる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0139】

このため、賞球タンク100内の多くの遊技球が、上記整流可能部により、上述のごとく、上下層の遊技球列に整流されてタンクレール部材110の上流レール部110aを通り屈曲レール部110bへ流動すると、当該上下層の遊技球列の各遊技球の流動速度が、屈曲レール部110bにより、その上流レール部110a側の開口端部にて良好に緩和される。これにあわせて、上下層の遊技球列が、均し壁部材110dによりその上下方向への均し機能のもとに、単層の遊技球列に近づくように整流され得る。ここで、屈曲レール部110bの上流レール部110aに対する下方への屈曲角度及び後方への屈曲角度は、それぞれ、約40度及び35度となっているから、上下層の遊技球列を、単層の遊技球列に、より一層良好に近づけ得る。